

(資料3)

協議事項(1) 「サルビア号」1年定期券の廃止について

平成29年度 第5回地域公共交通活性化協議会資料

★定期券利用の状況及び背景について

平成28年度巡回バス定期券購入(分析表)

実人数	95
-----	----

男女別	人数	比率
男	18	18.9%
女	77	81.1%
計	95	100.0%

地域別	人数	比率
福崎	58	61.1%
田原	29	30.5%
八千種	0	0.0%
町外	8	8.4%
計	95	100.0%

地区別	人数	比率
大貫	0	0.0%
八千種	0	0.0%
南田原	9	9.5%
西田原	14	14.7%
東田原	6	6.3%
福崎新	3	3.2%
馬田	10	10.5%
山崎	9	9.5%
福田	20	21.1%
田口	0	0.0%
高橋	1	1.1%
西治	6	6.3%
高岡	9	9.5%
市川町	3	3.2%
神河町	2	2.1%
姫路市	1	1.1%
加西市	1	1.1%
岐阜県	1	1.1%
計	95	100.0%

定期券 購入月数	延人数	比率
1	132	48.2%
2	50	18.2%
3	30	10.9%
4	5	1.8%
5	7	2.6%
6	11	4.0%
7	0	0.0%
8	0	0.0%
9	0	0.0%
10	0	0.0%
11	0	0.0%
12	39	14.2%
計	274	100.0%

年齢別	人数	比率
～22歳	0	0.0%
23～64歳	17	17.9%
65～74歳	21	22.1%
75歳以上	57	60.0%
計	95	100.0%

年齢別	人数	比率
10代	0	0.0%
20代	4	4.2%
30代	1	1.1%
40代	4	4.2%
50代	4	4.2%
60代	12	12.6%
70代	30	31.6%
80代	36	37.9%
90代	4	4.2%
計	95	100.0%

【1年定期券廃止提案理由について】

- ・公共交通機関の定期券については、ほぼ6ヶ月までとなっている。
- ・定期券について、再発行を行わないため紛失等に対応が難しい。
- ・地域連携サポートプランによる提案の中でも指摘があったが、本町のコミバス定期券は、非常に安価となっており、持続可能な公共交通体系をつくるためには、一定の利用者負担を求める必要がある。
- ・大幅な制度変更を平成30年10月1日(月)から予定している。その中では、後で提案する定期料金の改定を計画しており、今回の協議会で同意を得て、5月又は6月末で1年定期を廃止したい。

【流れ及び周知方法等について】

- 平成30年3月29日(木)1年定期券廃止にかかる協議
→協議が整った場合、兵庫陸運部に申請を行う。
 - 協議が整った旨を速やかにHPで公表。併せて、情報公開コーナー(役場、図書館、八千種研修センター)で閲覧。
 - 5月広報で周知。併せて定期券購入者にも周知。
- ※例えば5月に1年定期券を購入した場合は、1年間は有効とする。

(資料4)

その他(1)
「サルビア号」の定期券料金見直し及び
6ヶ月定期券の新設について(提案)

平成29年度 第5回地域公共交通活性化協議会資料

【定期券料金見直しの背景】

(サルビア号の歴史等)

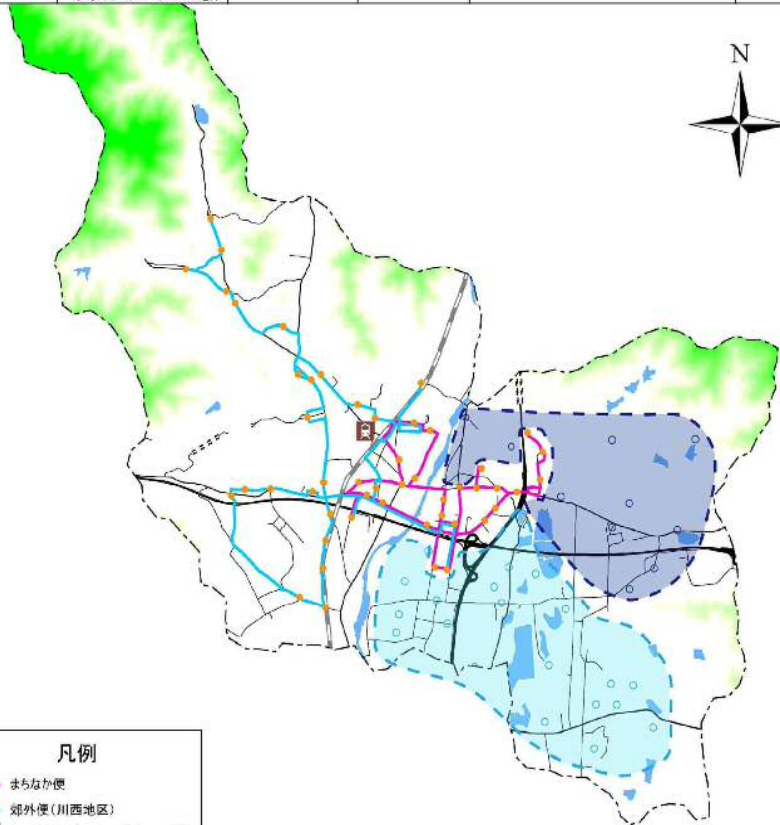
計画書P22頁より

- ・平成11年4月 : 福祉バスとしてサルビア号の運行開始
- ・平成24年12月 : コミバス再編(有料化、郊外便デマンド化)
- ・平成26年4月 : 郊外便川西地区を定時定路線型に変更
- ・平成30年10月 : 郊外便のサービス強化 + 連携コミバス・川東地区(一部)買い物バス運行開始(予定)

【現行の料金体系】

＜サルビア号の概要＞

調査対象バス	運行日	運行時間	運行本数	利用料金	運行形態
まちなか便 [12人乗]	月曜～土曜の毎日運行 (日・祝は運休) (秋祭り、12/31-1/3)は運休	8時45分～17時28分	8本/日	・1回：100円(乗り継いでも100円) ・回数券：1,000円(11回分) ・定期券：400円(1ヶ月)、4,000円(1年) ・無料乗車券：65歳以上の免許返納者が申請を行って発行(3年間)	定時定路線
郊外便(川西地区) [8人乗]	月曜～土曜の奇数日 (日・祝は運休) (秋祭り、12/31-1/3)は運休	8時02分～17時17分	10本/日 (各3便、2系統)		定時定路線
郊外便(川東地区) [8人乗]	月曜～土曜の偶数日 (日・祝は運休) (秋祭り、12/31-1/3)は運休	(概ね) 8時37分～17時06分	8本/日 (各4便、2系統)		デマンド型



凡例

- まちなか便
- 郊外便(川西地区)
- 郊外便(川東地区C)[デマンド型]
- 郊外便(川東地区D)[デマンド型]

※) 2018年(H30)3月時点

• 普通運賃：100円/回(乗り継ぎ可)

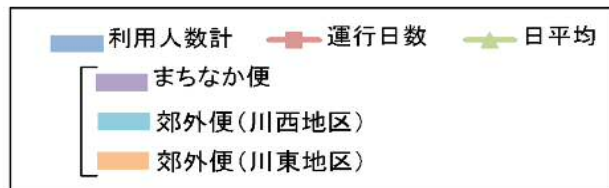
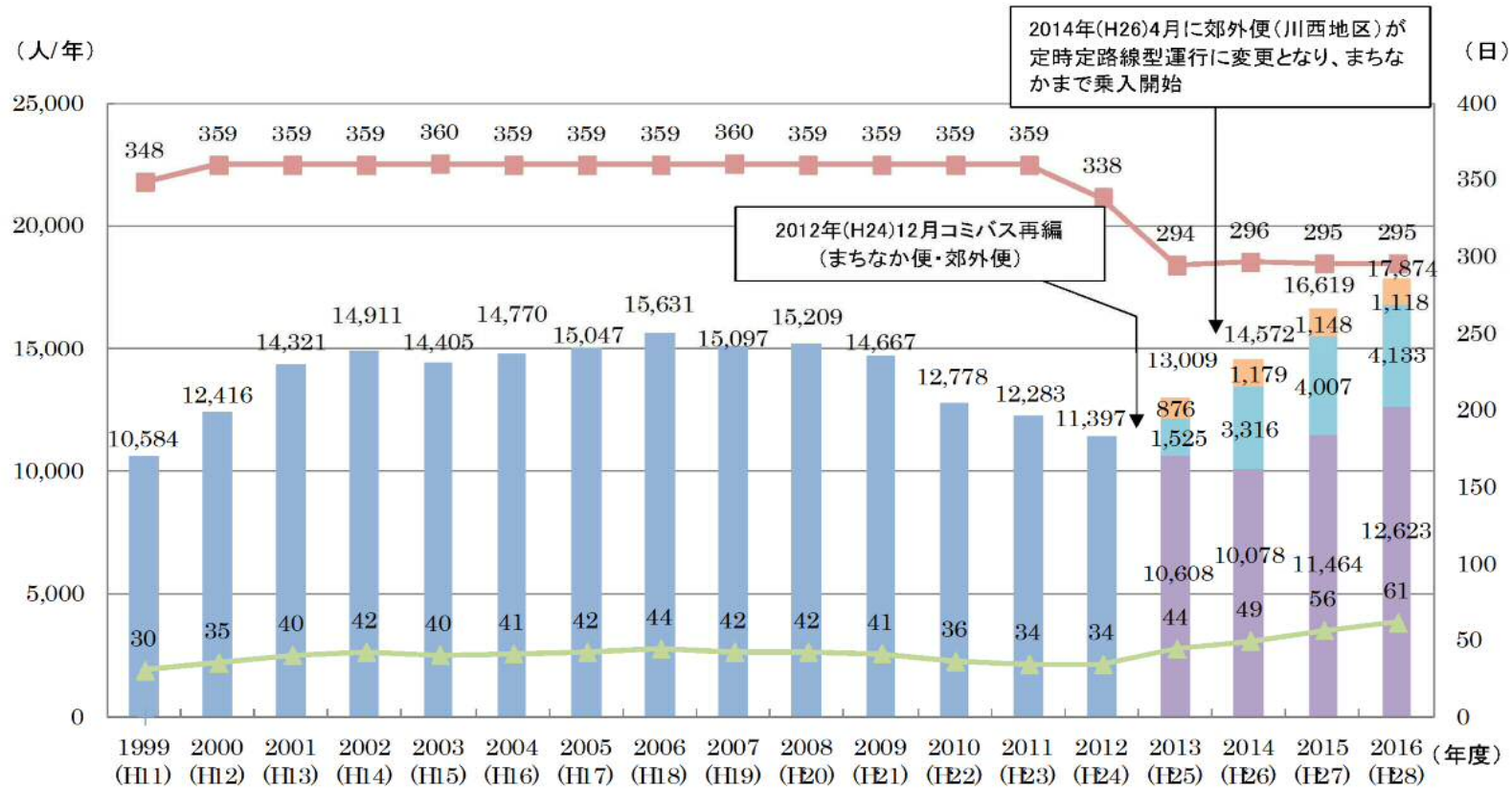
• 定期券 合計 95名(H28実績)

400円/月
(H28発行実績 1ヶ月定期:56人)
4,000円/年
(H28発行実績 1年定期 :39人)

• 回数券 11枚綴(1,000円)

【利用人数の推移】

＜ 利用者数の推移 ＞



出典) 福崎町統計書及び健康福祉課所管データ

【地域連携サポートプラン提案書抜粋】

サービス水準に応じた適切な利用者負担

- コミュニティバスの運賃の設定にあたっては、利用者による応分の負担のあり方について、地域公共交通活性化協議会で十分に協議した上で、必要に応じて見直しを図ることも必要である。

わかりやすい公共交通情報の提供

- 鉄道・バス・タクシーなど、あらゆる交通モードを網羅した交通案内をホームページ等で発信することにより、ルート・ダイヤ・利用の仕方などを分かりやすく情報提供することが考えられる。

新たな需要創出に向けた取組

- 地域公共交通について、住民が自ら主体的に考えて、行動するきっかけとするため、「交通安全教室」「バスの乗り方教室」などの住民参加型イベントを開催するなど、公共交通を身近なものとして意識してもらう取組を継続することが重要である。

【地域公共交通網形成計画等策定委員会：H30. 3. 9開催】

※公共交通網形成計画策定による運行体系の変更（H30. 10. 1運用開始）
に向けた取り組み

（主な内容）

- 一般、学生・高齢者、福祉対象者等多様な料金体系の構築を考えている。
- 普通運賃 100円／回については、変更の予定なし。
（デマンド、買い物バス、市川町連携コミバス含む）
- 回数券についても現行のまま据え置きの予定。

○サルビア号定期券料金の見直し案について(提案)

(定期券料金見し案について)

※案①はバス定期券をベース(7割)、案②は電車定期券をベース(5割)

[1ヶ月定期券]→通勤通学対応も考えての価格設定とする。

・料金改定案について

A 一般利用者定期券	案① 3,000円/月	※100円×2回×24日×70%=3,360円→3,000円
	案② 2,000円/月	※100円×2回×24日×50%=2,400円→2,000円
B 学生/高齢者定期券	案① 1,500円/月	※学生は、高校生、大学生、専門学校生
	※A×50% 案② 1,000円/月	・高齢者は65歳~74歳の方
C 福祉対象者定期券	案① 700円/月	※福祉対象者は後期高齢者となる75歳以上の方
	※B×50%(切捨て) 案② 500円/月	・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者手帳交付者 ・生活保護受給者

※現行で中学生以下は無料としているため、継続して無料とする。

○6ヶ月定期の新設について(提案)

[1年定期券→6ヶ月定期券へ移行]

・1年定期券については、利用状況等を勘案し、今回の制度変更で廃止し、**6ヶ月定期券に移行**を考えている。

※6ヶ月定期券については、**5ヶ月分の価格設定**とする。

A 一般利用者定期券	案①	15,000円/6ヶ月
	案②	10,000円/6ヶ月
B 学生/高齢者定期券	案①	7,500円/6ヶ月
	※A×50% 案②	5,000円/6ヶ月
C 福祉対象者定期券	案①	3,500円/6ヶ月
	※B×50% 案②	2,500円/6ヶ月

(資料5)

その他(2) 平成30年度の予定について

平成29年度 第5回地域公共交通活性化協議会資料

【平成30年度の予定について】

•H30. 4広報:「福崎町地域公共交通網形成計画策定」のお知らせ



•H30. 5広報:「サルビア号」1年定期券廃止及び6ヶ月定期券へ移行のお知らせ
区長文書:「福崎町地域公共交通網形成計画(概要版)」を全戸配布



•H30. 6頃 :平成30年度 第1回地域公共交通活性化協議会開催
(内容)協議会委員委嘱(2018. 4~2020. 3)

定期券料金について協議、運行ダイヤの頭出し等

★別途、制度変更について各自治会への説明開始→年内を目途に実施



•H30. 7頃 :平成30年度 第2回地域公共交通活性化協議会開催
(内容)運行ルート、ダイヤ等の協議、市川町との連携協定等



•H30. 10. 1:「サルビア号」の運行再編を実施